＜＜　北品川禁煙通信　＞＞

第 24 号：飲食店、禁煙で売り上げは減らず！

◇ ロイヤルホスト、『全席禁煙』に

ロイヤルホストは、平成 25 年 11 月 1 日より、洋食ファミリーレストランとしては初めて全店で全席禁煙となりました。以下はプレスリリースからの抜粋です。

・・・（前略）　禁煙に関する施策については、受動喫煙の防止といった社会的要請もあり、2009 年以降、一部店舗に快適性の高い独立した喫煙ルームを設置して完全分煙化を行うなど、お客様が快適にお食事を楽しんでいただくための環境を整えてまいりました。

そしてこのたび、2013 年 11 月 1 日（金）をもって全国のロイヤルホスト 228 店舗すべてにおいて客席を全席禁煙で営業いたします。　（後略）・・・

これまでの日本の飲食店は、受動喫煙に対して全く無知であったことから、喫煙に関しては野放し状態でしたが、最近になってようやく禁煙ないしは分煙の措置が取られるようになってきました。しかしながら、空間を二つに分けるだけだったり、不完全な仕切りのみといった名ばかりの分煙によってタバコを吸わない人々は相変わらず不愉快な思いをさせられているのが実情です。

欧米では世界保健機構（WHO）の定めた『タバコ規制枠組条約（FCTC）』に従い、バーなどを含めた飲食店では全面禁煙が当たり前になってきているのに、巨額の広告費をばらまくタバコ産業に牛耳られた日本のマスコミは国民にそのことを知らせず、日本も FCTC の加盟国でありながら財務省が JT（日本たばこ産業）の大株主であるために政府はタバコ対策には消極的です。

そんな中、今回のロイヤルホストの決断はまことに喜ばしいものであり、企業の社会的責任を果たそうとする姿勢がよく分かる例と言えましょう。

ただし、この取り組みにもまだ残念な点があります。それは、全店 228 店舗のうちの 198 店舗において喫煙ルームなるものを設置していることです。（写真下）。　WHO の定めた条例である FCTC においては、分煙という言葉は存在しません。なぜなら、いかなる装置を用いても受動喫煙を完全に防止することは出来ない事が科学的に証明されているからです。だいいち、喫煙ルームにも出入りしなければならない従業員の健康は分煙では守られないわけで、そうした意味からも WHO は完全禁煙のみを認めているのです。

ともあれ、食事中にタバコの煙を気にせずに済むというのは気分的にとても楽なものです。

では、なぜ、すべての飲食店が店内を完全禁煙にしていないのでしょうか？それは、喫煙者が遠のいてお店の売り上げが落ちるのではないかという心配が経営者にあるからです。はたして、ロイヤルホストではどうだったのでしょうか？

◇　全席禁煙後の売り上げは落ちず

11月1日に全店で全席禁煙を実施したロイヤルホストは先日 11 月の売り上げを発表しました（下表）。

2013年（平成25年度） ロイヤルホスト月次売上（既存店前年比）

（単位：%）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期
売上高	109.4	105.6	107.5	101.2	107.8	113.8	107.5
来客数	106.8	103.5	105.5	99.1	104.0	107.6	104.4
客単価	102.4	102.1	101.9	102.1	103.6	105.8	103.0

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期	年間
売上高	107.4	108.3	104.9	106.0	106.7			
来客数	102.3	103.4	100.0	101.2	101.6			
客単価	105.0	104.8	104.9	104.7	105.1			

2013年6月度より、月次報告は速報値ベースでの開示を行っております。
確定値の更新につきましては、毎月12日前後を予定しております。

この表を見ると、11 月の売り上げはその他の月と比べても遜色ないものであり、少なくとも減収にはなっていない事が分かります。

2020 年の東京オリンピックの開催に当たっては、飲食店の全面禁煙が義務付けられることになっており、遅かれ早かれ東京都では条例化されます。しかし、その前になるべく多くのお店が自主的に全面禁煙になることを願いたいものです。なぜなら、受動喫煙の防止はお上から強制されるものではなく我々国民が自ら実践しなければならないからです。先進国の中でも日本はとりわけタバコ対策が遅れており、ことこの分野に関しては非常に恥ずかしい状況です。飲食店の経営者の方にはまず、従業員のために店内の完全禁煙を勇気と信念をもって実施して頂きたいと思います。

何度も繰り返し申し上げますが、飲食店の完全禁煙は喫煙者にタバコを止めろと迫るものではありません。同じ空間にいる非喫煙者やお店の従業員のことを考えて、せめて食事の間は我慢してくださいとお願いしているだけなのことなのです。これが、果たして JT お抱えの有名人たちの叫ぶ『禁煙ファシズム』なのでしょうか？答えは明白です。